

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
介護総合演習Ⅲ Care Practice Support Ⅲ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	介護福祉士養成課程の学生のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
久保 由佳	福祉棟2F	月～金 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
介護実習に向けて、要介護者・要支援者の生活背景について学習し、利用者理解につなげる。また、自立やQOLの視点を持ち、社会参加や余暇活動、レクリエーション活動等を通して、その人らしい生活を支える方法について学習する。				
授業の目標				
①その人らしい生活を支える余暇活動やレクリエーションの意義を説明できるようにする。 ②現在に至るまでの出来事や文化等を調べ、要援助者の生きてきた時代をイメージしやすいように発表できるようにする。 ③季節や行事に応じた壁飾りや絵カードを作成できるようにする。 ④要援助者との話題が増えるようにする。 ⑤利用者の自立とQOLの向上を目指し、個性を活かした余暇活動やレクリエーション活動を実施できるようにする。				
授業の方法				
講義や実習での体験から、社会参加や余暇活動、レクリエーション活動援助への具体的な方法について考える授業とする。要援助者の生活背景を調べたり、生活に彩りを添える壁面やカードを作成するなど、グループ演習を多く取り入れる。				
学習の成果(学習成果)				
要援助者の生活背景や現在の状況をふまえて、季節や行事等の場面に応じた工夫をしながら、生活を豊かにするレクリエーション活動を企画、提案、実施することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法・演習時の注意など) 要援助者の生活背景①: 演習の目的と方法、グループワークの進め方 [講義と演習]			
第2回目	要援助者の生活背景②: グループワーク [演習]			
第3回目	要援助者の生活背景③: グループワーク [演習]			
第4回目	要援助者の生活背景④: グループワーク [演習] *発表会は別途連絡する。			
第5回目	要援助者の生活背景⑤: 流行歌からみる時代背景 [演習] 【レポート1: 要援助者の生活背景を調べた感想と学び、提出期限は授業で指示する】			
第6回目	余暇生活・レクリエーションの意義と目的 [講義]			

第7回目	生活とレクリエーション [講義] 【レポート2：入所および通所施設におけるレクリエーションについて、提出は次回授業時】	
第8回目	施設におけるレクリエーション（年中行事の由来と風習、人生儀礼など） [講義]	
第9回目	生活に彩りを添える壁面・カードの作成①：演習の目的と方法、グループワークの進め方 [講義と演習]	
第10回目	生活に彩りを添える壁面・カードの作成②：グループワーク [演習]	
第11回目	生活に彩りを添える壁面・カードの作成③：グループワーク [演習]	
第12回目	生活に彩りを添える壁面・カードの作成④：グループワーク [演習] *発表会は別途連絡する。 【レポート3：壁面・カードの作成および発表会の感想と学び、提出期限は授業で指示する】	
第13回目	レクリエーション・ニーズ、レクリエーション援助のプロセス [講義]	
第14回目	レクリエーション財の選択とアレンジ、社会資源の活用 [講義]	
第15回目	レクリエーション活動の実際（介護予防、生きがい活動、伝承遊び） [講義と演習] 介護総合演習Ⅳの課題（福祉用具試作品作製）について説明	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	30%	S評価は、①授業に集中し、必要なことはノートにとっている。②課題の提出期限を守っている。③演習に積極的に参加し、グループワークでは他学生の意見を聞いた上で、自分の考えを述べている。
レポート	30%	【レポート1・3】S評価：自分の考えが具体的に記述されている。 【レポート2】S評価：実習で体験した内容を挙げ、利用者の行動変容を記述できている。レクリエーションに対する考えがまとめられている。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	20%	要援助者の生活背景を調べた内容と発表態度を評価する。S評価は、時代の様子や移り変わりを詳細に調べ、イメージできるようにまとめられている。声の大きさや言葉遣いが適切であり、わかりやすい発表であること。
その他	20%	壁面・カードの作品と発表態度を評価する。評価は学生と教員で行い、①見た目 ②細かさ ③テーマとの一致 ④楽しめるか ⑤送る相手への配慮 ⑥声の大きさや言葉遣い ⑦説得力等を視点に評価する。
教科書と参考図書		
必要に応じて資料を配布する。 【参考図書】 新・介護福祉士養成講座 第6巻「生活支援技術Ⅰ」中央法規出版		
履修上の留意点・ルール		
グループ演習時は積極的に取り組むこと。また発表会では、他のグループからの学びも大切にすること。発表会の日程によっては、授業日を調整する場合がある。詳細は随時連絡する。飲食物や携帯電話等、教材以外のものは机上に置かない。やむを得ず欠席した場合は、速やかに届け出を提出すること。		